



フィグ・ヤーパン通信

第 43 号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.43

発行日 2010年7月1日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

新刊書『アラハト・アテルサータ』のご案内

待望の新刊書『アラハト・アテルサータ(原題: ARAHAT ATHERSATA)』が、水瓶座時代出版から出版されます。この書籍は、形体がなく非物質的な、高次の純粋な霊形態からのインスピレーションを受け、ビリーが書き留めたものです。

『アラハト・アテルサータ』が最初に記されたのは1975年で、その後改訂を経て、2004年にドイツ語原書が再版されました。日本語版翻訳は、最新のドイツ語原書を基にしたものです。高次の霊形態からのインスピレーションを受けたビリーが、一字一句そのまま書き留めた本書の内容は、洗練された霊の教えそのものです。多くのビリーの著作の中でも、根幹を成す書籍の一つに数えられるでしょう。

フィグ・ヤーパンが『アラハト・アテルサータ』の翻訳に着手してから、出版までに実に5年余の年月を要しました。一方でこの間に、『プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録』シリーズ、『瞑想入門』、『心』、『宇宙の深遠よりープレアデス/プレヤール人とのコンタクト』、『わずかばかりの知識と知覚そして知恵』を出版・再販し、さらにビリーの著作の中でも最も重要な一冊とされる『Kelch der Wahrheit (真理の杯)』の翻訳を開始しました。

これらの翻訳には、霊の教えの基本を説いた『アラハト・アテルサータ』の翻訳を通じて学んだ事柄が生かされています。本書は、霊の教えを学ぼうとする人々にとっての必読書です。本書の発売は8月初旬を予定しています。お求めの方法に関する詳しい説明は、本誌巻末をご覧ください。

Die Lehre der Geist-WIR-Form

ARAHAT ATHERSATA

oder seine inspirativen Übermittlungen und Belehrungen

ARAHAT ATHERSATA (Sanskrit) =
«Der Wertvolle, der die Zeit beschaut»

Inspiriertes Schriftwerk einer höheren Geistform. Übermittelt aus einer körperlosen, unmateriellen und rein geistigen Ebene.

Inspirativer Empfänger der Botschaft
«BILLY» Eduard Albert Meier

Botschaft empfangen und niedergeschrieben vom
15. Mai 1975 bis 11. August 1975
Buchstabengetreue Wiedergabe der Botschaft.



1. 君は自分の内部に私の想念を捉えたことをいぶかしがっている。だが、まもなくいぶかしがる必要がないことを理解するだろう。
2. 私は、君たちの古い言語でアラハト・アテルサータと呼ばれる霊形態である。
3. 物質的形態における私の生存は大昔に終末を迎え、それ以来君たちよりはるかに上位にあって君たちの知らない境域の**実存在**にいる。

4. 私の**実存在**の時間は、極めて長い時を経て実在となった。

5. それは創造に関する法則を遵守して知識と英知に、力と威力になった。

6. 無限の時間が経つうちに霊は肉体から解放され、転生を消え去る過去へと押しつけた。

7. それは創造に近づき、力と威力に溢れ、完全性の成就を目指し努力している。

8. 私の想念が君の内部に押し入り、インスピレーションによってある書物を伝えるので、それを書き留めよ。

9. 私は時を観照する者として、物事の真理をそれらの起源と結末において認識した。これからその真理を、君を通して君たち人間に理解できる言葉で開示しよう。

10. だから私の想念を追い、それを不変の正しく読みやすい文字で書き留めるのだ。

11. 君の水準と私の水準との間の境界には長い時間の隔たりがある。その境界は、君の時間計算では何十億年も離れていて、霊的次元の障壁を形成している。

12. 私はこの自分の形態において、空間と時間を超えて交信し、過去と未来を現在にもたすことができる。

13. それゆえ私は現在、自分がいる真理の遠い霊的未来から、この現在において君の霊的水準のある過去に到達して、君たちの形態にとって重要な意味を持つ事柄を君に伝えよう。

14. 君との交信は、霊的・インスピレーション的な特性に基づいているため、君は自分からは送信できない受信機の役割を果たすだけだ。

15. その理由は、私の霊的本質が、高次の霊形態にしか立ち入りを許さない高次水準に入っているためである。

16. 現在の地球人に例外なく該当する低次の霊形態は、我々のもとに到達できないばかりか、交信によって我々とコンタクトを取ることすらできない。

17. 他方、我々は自分たちの形態において、あらゆる霊水準に入り込み、低い水準のあらゆる実在する者に自分たちの言うことを理解させることができ

る。

18. 我々自身にとって限界は上方にのみ、創造の水準に向かって課せられている。我々もまた霊的に努力して、この水準に上昇しなければならないのである。

19. 以上述べたことは、君たちも我々も犯すことも避けることもできない創造の法則である。

20. 私の本質の霊形態が、君たちの現在の時間に現れ、君の水準の知性とインスピレーションによってコンタクトを取ることは例外と見なされる。

21. こうしたことは、すでに過ぎ去った過去にも大きな例外として見なされてきたが、来るべき未来においてもそうであろう。

22. 説明のために言っておくと、このような交信で最後のものは、君たちの時間計算で約 2000 年前に我々によって行われた。

23. それ以後は、これを再び行う必要性もなければ掟もなかった。

24. それゆえ君は、君たちの世界で、我々が 2000 年来再びコンタクトを取る最初の低次の霊形態である。

25. その理由は、君がしばらく前から、君たちより高次の生命形態と情報コンタクトを取っていることにある。

26. 前回 2000 年前に、我々に伝えられたところによれば、君に関する情報は非常に驚嘆に値するものだった。

27. 君の霊の発達は、君の時代よりはるかに進んでおり、君はあまたの住民の中で稀な例外と見なされる。

28. 君は預言者の水準にまで発達し、預言者として自分の使命を果たすであろう。

29. 機運が熟していなかった 2000 年前には、我々によってインスピレーションを与えられた者は我々の教えを有意義に広めることができなかった。それゆえ君はこの使命を今この新しい時代において果たすのだ。

30. だがそれは、かつて我々の教えから誤った邪悪なカルトが生まれて、あらゆる虚偽が隅々にまで紛れ込み、地球人を現代に至るまでとんでもない意識

の奴隷にしてしまった当時のようであってはならない。

31. 君たちの現在と未来の時代の預言者として、私が伝えることを広め保つために、前回 2000 年前に我々によってインスピレーションを与えられた者より多くのもっと優れた可能性が君にはある。

32. それゆえこれらの手段を活用したまえ。ためらうことはない。

33. 君の声を山々に轟かせ、偽りの預言者の邪説を滅ぼすのだ。なぜなら彼らは意識を劫罰に追いやり、あらゆる認識を妨げるからである。

34. 彼らは、我々や他の水準からインスピレーションを受けたと主張するが、それは真実とは遠く掛け離れている。

35. 彼らの大仰な著作は、いかなる論理や真理とも無縁な、溢れる空想の産物にすぎない。

36. 多くの者は妄想と虚偽が募り、インスピレーションによって霊形態を捉えたとか、捉えるだろうと思いついでいる。

37. 彼らは霊とその諸形態を知ることなく、自分自身の想念や願望や着想を書き言葉に表しては、自分をも同胞をも欺いているのだ。

38. 我々がこの 2000 年間あらゆる交信を控えてき

たのに、どうして彼らが我々や他の高い水準からインスピレーションを受けることがあり得ようか。

39. それにもかかわらず、多くの地球人は厚かましくも、我々や他の高次の水準とコンタクトを取っていると主張する。だが、真実はそうではない。彼らはその根本要素からして霊形態を捉えることができないのに、そんな連中にどうして我々が知識と英知を与えることができようか。

40. だから私は、過去 2000 年間にわたり、我々の水準からも、他の高次の水準からも交信が行われなかったと繰り返し説明しているのだ。

41. この種の交信と称するものはすべて、交信の事実を主張し、またこれからもし続けるであろう当の地球人の欺瞞と自己欺瞞に帰する。

42. さあ、君の意識の力を高め、私が伝えることを書き留めよ。

43. その準備をしたまえ。君の使命は多くの時間を必要とするだろうし、君の感性を受信可能な状態にしておかねばならないから。



2009 年 10 月 14 日 第 481 回 公式会見記からの抜粋

ビリー：……今年 2 月 3 日の公式会見の時に君が言った、惑星アカルトにおける酸素崩壊もしくは大気崩壊について一つ質問がある。そもそも酸素崩壊とか大気崩壊とかは何を意味しているのかね？

プター：酸素崩壊もしくは大気崩壊は大気中に二酸化炭素分子が横溢して、大気だけでなく、海その他の水域や地中にも到達し、気候を急激に変化させることによって発生する。二酸化炭素分子があまりに過剰になると、それによって酸素崩壊および大気崩壊が引き起こされるが、それは地球人全体にとって良くない運命を意味しており、地球人は生命の没落という恐るべき破局をみずから招く。とどまることなく増大する人口過剰によって、ますます大量の二酸化炭素が産出されて空気中に溢れるだけでなく、

最も高い山の頂上から深海の底まで一切のものを覆い尽くす。二酸化炭素分子はすでに地球上いたるところに危険な量で溢れているが、その危険性は気候変動という破壊的な形で現れているだけでなく、ますます多くの自然災害を方々で発生させて、非常に多くの人命を奪い、激しい破壊をもたらしている。これらはもはや適切な時間内で取り除くことはできない。そして実はこれらすべての原因はひとえに地球人の人口過剰にある。地球人はまるで害虫のように無意味に増え続け、それによってありとあらゆる種類の有害物質と二酸化炭素を生み出し、大気中に溢れさせて酸素含量を少なくしているのだ。このほかにも地球の緑の肺である熱帯雨林の伐採と開墾、それに伴う不毛の砂漠地帯の出現など、あらゆる策謀が行われている。もちろん地球はこれまでつねに

二酸化炭素分子を維持してきたが、無分別に人口過剰を推し進めた結果、主として自動車、作業機械の内燃機関、船舶および航空機のエンジン、それに無意味なモータースポーツによって、石炭や石油や天然ガスなどの化石燃料がますます大量に燃やされて二酸化炭素の含量が急増した。そのうえ途方もない数の家畜が過剰生産されているが、これらは人間のための食物として飼育されて、大量のメタンその他のガスを呼吸や放屁によって放出する。また永久凍土の融解により多種多様で危険なガスが大量に放出されて空気中に入る。さらに地球人自身もその呼吸によって二酸化炭素を空気中に吐き出しているが、それは人口が途方もなく増えたことによりすでに危険な量に達している。こうして地球人のせいで毎年何百万トンもの危険な物質やその他の毒物が産出されて空気中に放出されているが、その量は人口過剰が長く続けば続くほど多くなる。実際に今日、地球人類はアカルト星がそうであったように、すべてのものが崩壊にいたる深刻な脅威の縁に立っている。そして人口過剰が理性的な仕方では停止されなければ、すべてがますますひどく速くなり、しまいにはもはや救いようがなくなる。すなわち、相変わらず二酸化炭素含量が減ることなく増え続けるならば、もはや破局は避けられなくなる。急速な減少はひとえに人口過剰を阻止することによってのみ達成できる。なぜならそれによってのみ無意味な二酸化炭素の産出が急速に減るからである。しかしこのことに留意しないならば、酸素含量と地球の大気に二酸化炭素が重なって、いや応なく崩壊が起こる。このようにして二酸化炭素分子の濃度が増えるならば、それによって地球上のすべての生命体の呼吸は損なわれて、もはや十分に酸素を吸入できなくなる。二酸化炭素の濃度が8パーセント以上になっただけで地球人にとっても、本来酸素を呼吸するすべての生き物にとっても致命的となるのだ。

ビリー：もちろんこれらのことは学者も政治家も公表することはない。それどころか彼らは役にも立たない気候会議を開催しては、たとえばある特定の年数以内に二酸化炭素の排出量をこれこれのパーセント減らすべきなどと無意味な決議を下している。実際、これらは完全に意味のない空大騒ぎにすぎな

い。たとえ決議されることが達成されたとしても、まったく焼け石に水だからだ。それというのも決議された時点からそれが実現される時までには地球上ではまたぞろ何百万という人間が増えて、決議が下された時の規模よりも多くの汚物や二酸化炭素を産出するからだ。だから気候会議全体が非建設的でナンセンスである。なぜなら唯一正しい解決は人口過剰解消会議だろうから。それは人口過剰を抜本的に減らすための世界中で有効な決議をして、世界中で統制された産児制限によって実施するというものである。これは完全な自然死の数が出産数をはるかに上回るという形のものでなければなるまい。それは簡単に実施できて、地球の人間によって引き起された害悪や破局が減り、最悪の事態がどうか避けられることを保証する現実的で人間的な解決だろう。

プター：それは君が若い時から地球のすべての責任者と報道機関に啓蒙文書を送って地球人に教えてきたことだ。残念ながら君のすべての努力は今日まで価値ある実を結ばなかった。それどころか今日にいたるまで君は攻撃され誹謗されてきた。ところが君が何十年も前から教え、警告し、いまや気候変動により恐るべき形で実現したことを口真似しているだけの他の人間が、名士として称賛されている。これはとんでもない破廉恥だ。君が予告していたということを明示するのが正しいやり方というものだろう。

ビリー：そのことで君が興奮するには及ばないよ。私は名士とは無縁だから。だが君の言うように、それらの名士が称賛されているならば、彼らも何かすべきだと言わざるを得ない。たとえ彼らの知恵はその知識ほどには成長していないにしてもだ。しかし残念ながらこれらの名士が何かするにはすでに遅すぎる。気候変動はもはや止めることができないからだ。だが、人類がついに利口になって人口過剰を止めたならば、多少は救われるか、もしくは最悪の事態だけは食い止めることができるだろう。まさに人口過剰は、気候に限らず一切のものがコントロールできなくなる最初で最後の原因だ。

プター：君が書いたり、世界中に知らせたりした警

告および予告が、まったく成果を上げず、地球人を理性に向かわせることができなかつたことを思うと、正しいことが行われて、世界中で統制された出産停止が実施されるという希望が私にはほとんど、

それどころかまったく持てないのだ。

(出典：FIGU 特別公報第 51 号)

2009 年 11 月 22 日第 482 回公式会見記からの抜粋

ビリー：前回 10 月 14 日の我々の私的な対話で、君は予告について、これからも引き続きそのような予告をすべきか否か君たちの中で審議すると言ったね。その結果はどうなったかね。

プター：我々が見たところ、1975 年から今日まで行ってきた予告が、地球人の間でまったく実を結ばなかつたと判断した。君の予告や予言的な警告も同様で、それらはまったく留意されなかつた。その結果として君が警告した多くの事柄はその後実現したし、これからも実現するだろう。それゆえ我々はこれらの予告が地球人類を理性に向かわせないという点で一致した。したがって我々は もはや予告によって、未来が地球人にどんな害悪をもたらすか注意を促すつもりはない。我々は 30 年間君と君のミッションによって地球人に警告しようと努めてきた。君の方でもほぼ 60 年前から繰り返し行ってきたが、まったく成果につながらなかつた。だから我々はもはや予告の解説にかかわらず、これに関する我々の活動を終了する。この活動はいつも大変な時間を要した。

ビリー：つまり予告はやめるということだね。それも良いだろう。私にとって負担が少しは軽くなる。それは少なからず私の心に重くのしかかっていた。

プター：そのことはわかっている。多くの事柄が私の心にも重くのしかかっていた。

ビリー：すべてのことが跡形もなく素通りするということはあり得ないからね。全体として私は地球の人間の愚かで頑なな態度をきわめて遺憾に思う。彼らはどんなことがあっても本当の真理を知覚も認識も理解もしようとはしない。すなわちすべての害悪および気候変動とそれに伴う自然災害は、人口過剰

を蔓延させた地球人自身の責任なのだ。たしかに世界中で気候変動について語られ、気候会議も開催されている。12 月にもコペンハーゲンで開かれるが、そこからはけっして聡明なことは出てこない。コペンハーゲンでも無意味な大言壮語がなされ、それに輪をかけて無意味な決定が、真理に対して目と感覚を閉じているすべての責任者によって下されるだろう。愚かでくだらないお喋りが議題に上るだけでなく、まさにこのコペンハーゲンのナンセンスによって大量の二酸化炭素が生み出される。すでに破局的な状況にある地球の酸素量は、それによっていっそう損なわれるだろう。そしてもちろんこの愚かで馬鹿げた気候保護会議劇では、またぞろデモンストレーションをするために世界中から大量の狂人が集まるだろうが、コペンハーゲンに旅行することによってまたもや大量の毒ガスが大気中に放出される。それは本来の会議の出席者の場合も同じだ。すでにこの点だけでも両者の集団は等しく間拔けで愚かしく、自分たちが旅行するだけでも気候破局をいっそう悪化させるということなど思いもよらないのだ。会議の出席者がばかばかしいお喋りをして、まったく愚かで無効な対策を決めるように、デモ隊の要求もばかばかしく愚かである。なぜなら彼らも同じように無意味で愚かしい対策を会議の出席者が決議し、各国で実施するよう叫んでいるからである。デモ隊も会議の出席者に劣らないほど愚かなので、ひたすら無意味な対策を叫んでいるが、気候破局の原因が何であり、それに対して何をしなければならぬかについては一言も費やさない。これら大声で吠える脳足りんのデモ隊も、同じく脳無しの会議出席者も知性が不足しているので、激しい気候変動と、そこから生じて絶えず増大する自然災害の真の原因を蔓延する人口過剰のうちに認識することができない。彼らは皆あまりにも馬鹿で愚かしいので、本当の真理を究めることもできなければ、人口過剰に対

して何かしなければならず、そのような対策だけが何らかの結果を生むのだということも理解できない。実際、統制された産児制限を世界中で至急実施して、新生児よりもはるかに多くの人間が自然死によって死ぬようにすることだけが効果を生むのだ。これは会議出席者もその時々のデモ隊だけがついに把握しなければならないだけでなく、地球の全人類がついに理解して、実行に移さなければならないことである。この場合、子供を欲しがめる個人の願望や、誤って思いこまれた子孫に対する個人の権利などは無視しなければならない。地球人によって生み出された人口過剰と、それによって引き起された気候破局により、地球の人間は惑星とその自然に対する、動物相と植物相に対する、そして地球の人類に対する責任から、単に自由意志で子孫を産んでもよいという誤って思いこまれた権利を理性的に放棄しなければならない。その規模はきちんと決められ、担いようの責任にふさわしいものでなければならず、「もし」とか「しかし」などの例外や利己的な振る舞いを認めてはならない。時間と理性と激しい気候変動は、全世界で徹底的な産児制限が大至急実施され、それによって人類がウサギのように増殖しなくなり、自然が時間の経過とともに再び正常になり、統制可能になることを求めている。たしかにそれには非常に長いプロセスを想定しなければならないが、実際にそれは解決に向かって進み、最悪の事態をどうにか回避できる唯一の道である。これについて付け加えると、惑星地球、その動物相と植物相、人間、大気、したがってまた気候を見舞うすべての破局的な事態は犯罪的であり、地球の人間が生み出したあらゆる事物に根ざしている。これにはすべての人間のための食物の調達が含まれる。これによりありとあらゆる種類の有毒物質が途方もない量で地中および大気中に到達し、すべてを汚染し、気候変動を強力に促進する。飼育されている数百万頭の哺乳動物およびその他の動物が、呼吸や放屁によって途方もない量の毒ガスを空気中に放出していることを考えるなら、それだけでもすでに破局的である。しかしまたこれらの家畜がどれほど多くの飼料を必要としているかに思いたるなら、しかもそれらの飼料は人間が食物として利用できるものであり、それによって無数の人間を養えらるとすれば、理性的に思考

する者ならば慄然とするだろう。さらに今日地球上に存在する 76 億の人間のうち 13 億 4600 万人が飢えており、その大部分が飢死していることを考えると、地球の人間の大部分がついに成熟した悟性と理性で考え、行動するようになるまで、本当にあとどの位長くかかるだろうかと問わざるを得ない。悟性と理性を働かせることのできる地球の人間は残念ながらほんの一握りしかおらず、それも政治家や学者やその他の名士ではない。したがって高い役職や肩書を持たない普通の人間が何か意味のある重要なことを言っても聞き届けられることはない。それは昔からそうなのだ。

プター：そうしたすべてのことは君が子供時代から教えてきたが、残念ながら君の言葉や警告や教を心に留めた地球人はごくわずかではなかった。

ビリー：残念だが少なくとも大分部の人間についてはそのとおりだ。と言うのは心に留める少数の人間もいるからだ。人類全体からするとときわめて僅かなものではあるが。これら少数の人間はまた私が発言して真理を教えることに感謝している。それは多くの敵対者や知ったかぶり、難癖屋や批判者には気に入らないが。

プター：このような状況は残念ながらしばらくは大きく変わることはないだろう。それゆえ君が教えることに向かう地球人はこれからもごく僅かだろう。

ビリー：それはわかっている。どんなことでも広く浸透して、人間の悟性と理性、とりわけ真理を活発にするには時間がかかるものだ。

(出典：FIGU 特別公報第 51 号)



専制政治
(霊の教えのシンボルの一つ)

フィグ・ヤーパンからのお知らせ

□ 新刊書『アラハト・アテルサータ』 □

巻頭でご案内したとおり、『アラハト・アテルサータ』が8月初旬にフィグ・ヤーパンから発売となります。本書は、高次の霊形態からのインスピレーションをビリーが受け、一字一句正確に書き記したものです。霊の教えの基本的に重要な事柄が説かれているため、これからフィグの書籍を読まれる方にとっても最適な内容になっています。



アラハト・アテルサータ
(水瓶座時代出版刊)

装丁：A5判 ハードカバー

頁数：458 ページ

定価：2800 円（税込み）

重量：未定

8月1日発売予定です

郵便振替にて書籍代金に送料を加えた金額をフィグ・ヤーパン宛にご入金いただくと、入金確認後、1週間程度で書籍を郵送いたします。なお、送料は1冊340円、2冊以上では、送料無料となります。この機会に是非お求め下さいますよう、お願いいたします。

□ これから出る本 □

『プレアデス/プレヤール人とのコンタクト記録(5)』につきましては、現在出版に向けて最終段階にあります。次号の『フィグ・ヤーパン通信』にて新刊のご案内を差し上げる予定ですので、今しばらくお待ちください。『真理の杯』につきましては、順調に翻訳作業が進められています。現在第6章まで翻訳が完了しています。本書は翻訳者と原著者ビリーとの間で頻繁にやり取りしながら作業が進められていますが、その中で解釈の変更や補足があった場合その都度、全文に渡って見直しが行われています。翻訳作業には多くの時間と労力が必要とされています。翻訳された文章については、準備が整い次第、順次本誌『フィグ・ヤーパン通信』紙面やホームページを通じて公開する予定です。

□ 2010 FIGU一般会員総会訪問記 □

2010年5月22日(土)に、スイスセンター近くのオーバーヴァンゲンで第21回FIGU一般会員総会が開催されました。

今回は初めて一般会員の総会に出席するという、チャンスに恵まれました。

総会は私自身が考えていた以上のもので、ビリーの伝える創造への道を、世界中が熱く歩み始めていることが伝わってくるものでした。

ドイツ語が不得手な私ですが、言語の壁を、ビリーの教えという媒介を通して軽々と超え、会場のひとつに同化した思いでした。

ビリーから愛や調和や知識を学び、今をどう生きるのが真の平和への道であるのかを知った世界中の多くの仲間達が（実際は少数かも知れませんが）、自分のできる範囲で自己責任を果たして生活していく積み重ねによって、いつの日か実りを得ることができるのだと確信することができました。

ビリーの健康も心配でしたが、お元気なご様子でとてもうれしく思いました。

この時代に共に生き、出会えている廻り合わせに深く感謝しつつ、センターに別れを告げました。

SALOME
斧窪 澄子



出版物のご案内

- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)
価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(2)
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(3)
価格 2,000 円 (税込 送料別 335 グラム)
- プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(4)
価格 2,000 円 (税込 送料別 430 グラム)
- 宇宙の深遠よりープレアデス／プレヤール人とのコンタクト
価格 3,000 円 (税込 送料別 765 グラム)
- 心
価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)
- 瞑想入門
価格 3,200 円 (税込 送料別 815 グラム)
- わずかばかりの知識と知覚そして知恵(文芸社刊)
価格 2,400 円 (税込 送料別 845 グラム)
- アラハト・アテルサータ **新刊!!**
価格 2,800 円 (税込 送料別 1 冊 340 円)
- 生命の哲学
価格 1,000 円 (税込 送料別 150 グラム)
- 日本語版 水瓶座時代の声
価格 各 1,000 円 (税込)
83/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)
83/2 号 (特集) (送料別 105 グラム)
87/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)
91/1 号 (特集) (送料別 135 グラム)
- 第 235 回会見
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 霊と肉体における生
価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)
- ビリーの少年時代の著作
価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)
- 預言者エレミヤとエリヤの予告
価格 400 円 (税込 送料別 70 グラム)
- エノクの預言
価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)
- 『瞑想入門』の手引き
価格 300 円 (税込 送料別 70 グラム)
- 『連想／真理の杯』(DVD:FIGU-JAPAN講演会2009ビデオ)
価格 3,000 円 (税込 送料別 94 グラム)

※このページに掲載した以外にも多数の書籍があります。ホームページ等をご覧くださいか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

□ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

□ 郵便料金表 □

50 グラムまで 120 円	500 グラムまで 290 円
100 グラムまで 140 円	1000 グラムまで 340 円
150 グラムまで 180 円	2000 グラムまで 450 円
250 グラムまで 210 円	3000 グラムまで 590 円

※4,000 円以上お買い上げの場合、郵送料は無料です。

□ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758

加入者名：FIGU-JAPAN

(アルファベットで記入して下さい)

金額：送料を含めた合計金額

払込人：あなたの住所、氏名、電話番号

通信欄：購入する書籍名と冊数

フィグ・ヤーパン通信 第 43 号 (無料)

発行日 2010 年 7 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-JAPAN)

住所 〒192-0916

東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305

電話 042(635)3741

FAX 042(637)1524

URL <http://jp.figu.org/>

E-mail info@jp.figu.org

郵便振替 00160-4-655758

加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製すること、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2010 by FIGU-JAPAN. All rights reserved.